

事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input type="checkbox"/> 必需	公的関与	3	作成日	30年 6月 13日
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------	------	---	-----	------------

事務事業名	河川維持管理経費			シート作成部署	
-------	----------	--	--	---------	--

総合計画上の位置付け	基本施策	1 安全・安心なまち	課名	建設課	係名	土木係	
		1-1 安全・安心のまちをつくる	シート作成者				
	施策	1-1-2 交通安全・防犯対策の充実	予算費目	会計	一般		
				款	8		
主要施策	②安全な道路環境の整備・維持	項		3			
		目		1			

個別計画名	
-------	--

住民との関わり	特になし
---------	------

事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	目的（どういう状態にしたいのか）
	住民	住民が安全・安心して暮らせるよう水害を未然に防止する。

事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	町が管理する河川を適正かつ効率的に維持管理を行う。
-----------------------	---------------------------

事業期間	昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度 (年間) <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

根拠法令・要綱等	河川法
----------	-----

		平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
全体事業費（千円）A+B		0	2,099	2,125
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	地方債	0	0	0
	その他特定財源	0	0	0
	一般財源	0	53	79
直接事業費（千円）A		0	53	79
人件費（千円）B		0	2,046	2,046
内訳	一般職員（人・千円）	人 0	0.31 人 2,046	0.31 人 2,046
	臨時職員（人・千円）	人 0	人 0	人 0

成果指標	成果指標名	単位	28年度		29年度 （目標）	30年度 （目標）
			目標	実績		
	①					
②						
③						
説明						

事業名	河川維持管理経費	シート作成課	建設課
-----	----------	--------	-----

一次評価者	建設課長	二次評価者	建設部長
-------	------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明		
	一次	二次			
	必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	河川の損傷は大きな災害につながることから、維持補修は必要です。
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	軽微な損傷のうちに、補修することで災害を未然に防止するためにも有効です。
	達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	良好な維持管理を継続できている。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い（他市町や類似業務を行う民間に比べて）。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	災害を未然に防止するために、日常のパトロールにより軽微な損傷を発見し補修することで、予防保全につながっている。	

本事務事業の実施適切性の説明

近年、大雨等による災害が増える中、日頃の維持管理により防げる災害もあることから、軽微な補修を行うことは重要なことである。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	⁸ B	⁸ A
						⁷ D	⁸ C
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
今後の改革・改善目標	河川の維持管理を適切に行い、安全な河川の保全に努める。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	4	4	⁸ B	⁸ A
						⁷ D	⁸ C
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
コメント	日頃のパトロール等により異常を早期に発見し、対応することが重要であります。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--